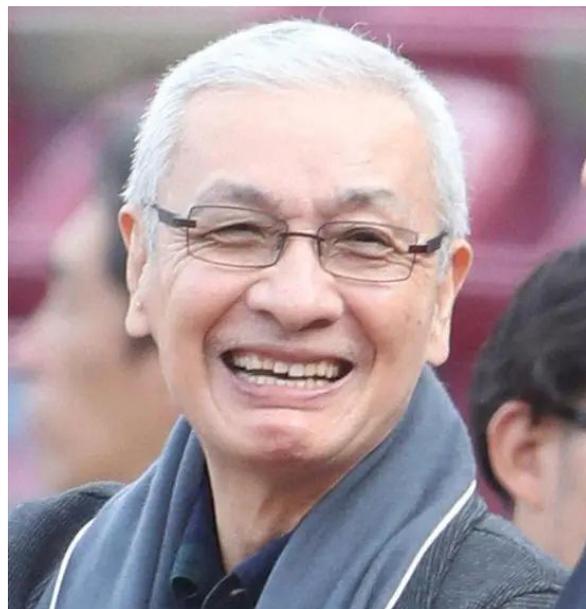




栗山英樹氏_祝野球殿堂入り



久米宏氏逝去_享年 81 歳

昨日 17 日、阪神淡路大震災から 31 年目とのこと、全国各地で慰霊のセレモニーが開催されていました。その後も東日本大震災、熊本地震、能登半島地震 etc. 幾度となく大きな地震が繰り返し起きています。つい先日も鳥取島根のあたりで大きな地震がありました。今年に入り、日本各地で震度 3 以上の地震が、すでに 19 回も観測されているそうです。南海トラフで巨大地震が発生するのも時間の問題となってきたようです。どんな備えをしたところでも、どこにどのくらいの災害が起こるのか、予測できません。大自然の前になんてヒトがこんなに無力であることを感じます。それに比べたら今般の“クマ騒動”なんてちっぽけなことのようにも思えます。

山梨県上野原市で 8 日に発生した山火事は、隣接する大月市側にも燃え広がり、10 日が経過した 17 日正午時点で 350ha 以上が消失したとのこと。空気が乾燥している上に、風の強い日が続き消火活動が難航しています。また、和歌山すさみ町でも 13 日に大規模な山火事が発生。14 日朝からは、和歌山県の消防防災ヘリと自衛隊の大型ヘリによる消火活動が行われ、こちらは 15 日朝にはほぼ消し止められ、発生から 90 時間近く経った 17 日に鎮火しました。この火事で消失した山林約 13ha の中にはメガソーラー発電所の敷地が含まれており、太陽光パネルの下に敷かれる防草シートが焼けるなどしています。当初は山林火災として通常の放水をしていましたが、太陽光パネルは感電の危険があり、消防士は耐電手袋や長靴を着用して放水にあたるきわめて困難な消火活動となったとのこと。日本に限らず、大規模な森林火災も世界中で起きています。CO₂ 削減といっていますが、どんどん増えているようにも思えます。

大谷選手の“二刀流”の生みの親、栗山英樹さんの野球殿堂入りの朗報が入りました。東京学芸大学出で、選手としての実績はあまりありませんでしたが、現役引退後、指導者として頭角を現し、日本ハム時代にドラフトで大谷選手を引き当て、二刀流を開眼させ現在の世界球界 NO.1 の大谷選手を育上げた手腕は、野球界にも大ただならぬ功績を遺したのではないのでしょうか。

また、平成の TV 界を背負って活躍したタレント久米宏さんが亡くなりました。享年 81 歳。アナウンサーというよりは、幅広いエンタメの世界における寵児ではなかったかと思えます。僕個人としては、早稲田大学時代に学生運動のリーダーとして、討論会やディベートで鋭どく目立っていたという誰かの論評がとても印象に残っています。声質や活舌もよく、しかもルックスもよく当時から人心をつかむのがうまかったんだろうと思います。10 年前、当時の高市総務大臣が、放送事業者が政治的な公平性を欠く放送を繰り返した場合に電波停止を命じるなんて政治介入を脅したあたりから、マスコミがすっかり萎縮して、報道の質がどんどん劣化してしまいました。最近では僕もほとんど TV を見るのがなくなりましたが、まだ TV 全盛時代にマスコミの顔としての立ち位置を確立された方のお一人ではと感じています。ご冥福をお祈りいたします。

高市さんの“解散は内閣総理大臣の専権事項”？でにわか永田町界隈が賑やかになってきました。立憲民主党と公明党が、“中道改革連合”という新党を結成することで合意したそうですが、どちらもイマイチ人気がないので、一緒になっても議席を減らす雲行きです。真偽のほどは分かりませんが…。週刊誌ネタでは自民党が 40～50 議席程度増やすのではとのことで、これじゃ日本維新との連立いらんじゃんということにもなりかねません。物価高や円安で国民が悲鳴を上げているこのご時勢に、700 億円の血税をかけての選挙ですか？終わっても任期満了までの残期間なので、また 2 年もすればすぐに選挙、我々は何のために税金を納めているのかな？東京新聞 1 面“筆洗”です。

筆洗 1月15日付

「スノーボール効果」とは小さな雪玉が坂を転がっていくうちにみるみる大きくなっていく現象で日本ではなぜか雪玉ではなく「雪だるま方式」という▼衆院解散をめぐる永田町の騒動に大きな「雪玉」を見た気になる。首相が通常国会冒頭に衆院を解散するのではという見方広がったのは先週のこと。最初は「ホンマかいな」の疑いもあった小さな雪玉が日を追うごとに大きくなり、新聞の見出しも「衆院解散検討」「首相、衆院解散の意向」と変わっていった▼なるほど雪玉が大きくなるのも分かる。実際にあるかはともかく、解散の可能性が少しでもあれば与野党の議員はどうしたって身構え、選挙の準備に入る。いやが応でも解散の雰囲気は高まり、その方向へと雪玉は転がっていく▼かくて衆院解散・総選挙という大きな雪だるまができつつある。投開票は 2 月 8 日か 15 日とか▼首相としては総選挙の勝利で政権基盤を安定させたいのだろう。それでも、あれほど物価対策、経済政策と強調していた方が、当初予算案の成立を遅らせてでもこの時期に解散を選ぶ

のがやはり解せない▼高い内閣支持率に勝負心が動いたか。なれど、選挙は水もの。「雪の達磨にたどん目の鼻とけて流るる黒衣」。端唄の文句じゃないけれど、その人気も選挙では解けて流れないとも限るまい。そもそも自民党の人気は首相ほどに高くない。

すっかり老け込んだ菅元総理が引退宣言をしていました。顔色も悪いし、覇気もなくなり、会見ではどこか悪いのかなってという雰囲気醸し出していました。まあ、そろそろ年貢の納め時だね。また吉村大阪府知事と横山大阪市長も急遽辞職すると言いだし、出直し選挙を衆院選と同日にするそうです。なんか選挙戦で勝ち目があってのことなんだろうけど、彼らの言い分もよく分かりません。まあ、政治屋の駆け引きがあるんでしょうかね。この衆院解散総選がらみで、東京新聞“本音のコラム”三木義一さんもこれに参戦！、こんな論評しています。

冷製に、冷静に！ 1月15日付

三木 義一 — 青学大名誉教授 —

「ご隠居、大変だ。高市首相が解散に踏み切るようですよ」

「ほほう、焦ってきたな。韓国の裁判が気になるんだろう。これ以上、旧統一教会と自民党との関係が明らかにされたら、たまらんからじゃろう」

「確かに」

「そもそも日本は異常だよ。日本人を苦しめてきた外国の宗教団体に支援されていた議員が290人もいて、こうした議員と裏金議員たちに推された方が首相をしているんだぞ。しかも、この方が高支持率だそうだ」

「あ〜、確かに」

「しかし、公明票500万票が逃げた中でやるということほどに勝算をおいているのかの〜」

「そりゃ、やっぱり、高支持率に期待しているんじゃないですか」

「維新はボロボロだから、高支持率の中身が問題じゃ。菅野完さんという方はYouTubeで、高市が失った500万をアホで穴埋めしようとしている、だから排外主義とデマに気をつけろと警告されている」

「X(旧ツイッター)なんてそんなのばかり」

「裏を取ればすぐにフェイクだとわかることでもXに投稿すればきれいなデジタル文字で拡散される。業者に頼めば、高市を支持したくなるデマや偽情報を大量に出すこともできる。我々市民は冷静に裏を取って本当のことを共有しよう。冷製に、冷静になろう！」

「ご隠居、熱い！」

いざ国会が始まったら、高市さんが解散総選挙やっぱりヤメたって展開になれば、面白そうだけど、面白がってはいけないのかな？あれだけ渋ってた食料品の消費

税 0%を自民党の選挙公約に盛り込むなんて苦し紛れに言いだしたみたいですが。来年度予算ははて？どうなることやら…。

今朝の新聞で、再稼働が決まっていた東京電力柏崎刈羽原発 6 号機で、原子炉内の核燃料の臨界を抑える制御棒を引き抜く試験中に、警報が出ないトラブルが起きて、再稼働の日程を延期するとのこと。やっぱり 14 年も動かしていない原発のアチコチでガタがきているのは明らかです。先日浜岡原発でのデータ改ざんで、審査が白紙に戻されたばかりなのに…。原子力規制委はもう一度全ての原発を審査をやり直した方がよさそうです。東京新聞“本音のコラム”斎藤美奈子さんの論評です。

再稼働と不正 1月14日付

斎藤 美奈子 — 文芸評論家 —

審査データに不正があったとして、原子力規制委員会が 7 日、中部電力浜岡原発 3、4 号機の再稼働に向けた審査を白紙に戻す考えを示した。

先週のこの欄で東京電力柏崎刈羽原発再稼働への疑問を呈したばかりなのに今度は浜岡か！

問題の不正は、基準地振動(地震の揺れの最大想定)が小さくなるようデータを意図的に選定したという悪質なものであった。地震動は耐震設計の根幹だから、約 10 年を費やした審査はこれですべてオジャンとなる。

不幸中の幸いは、データの不正を原子力規制庁に告発(公益通報)した人がいたこと、この通報を受けて規制委が審査のやり直しに踏み切ったことだろう。もし勇気ある告発者がいなかったら規制委も不正は見抜けず、この件は闇に葬られていた可能性が高い。

府政の背後に見え隠れするのは政府のエネルギー政策の転換だ。原発への依存度を可能な限り減らすという福島第 1 原発事故後の方針を昨年政府は転換し、原発の「最大限活用」に舵を切った。新方針は早くから電力会社に伝えられていたはずで、再稼働を急がされれば現場だって焦る。

規制委は中部電力以外の調査はしないというが、審査を終了した柏崎刈羽原発や泊原発は大丈夫なのか。いつどこで地震が起きてもおかしくない日本。恐ろしく危ない橋を私たちは渡っている気がする。

内部告発がないと見抜けない規制委の審査では、ザルのように改ざん文書が通過します。そもそも車だって 10 年以上エンジンをかけずに、車庫で眠っていたものをいきなりフルスロットルで高速道路を走らせたなら、どうなる…？多分誰も怖くて乗りません。廃炉だって 10 年じゃできないだろうし、使用済み核燃料をどうするって問題は、これからはずっと棚上げ、完全に国と経産省が電力大手に言い含められている構図がミエミエ。取り返しがつかなくなる前に、早めに行動した方がいい。ですが、もうすでに取り返しのつかない状況。誰がどう責任を取るのか…、そして誰もいなくなるのかな？